

マルコの福音書 5:1-20 弟子のあるべき姿

今日は、聖書の中で最も詳細が記されている、ドラマティックな悪霊払いについて見ていきたいと思えます。イエスはある男から、一つではなく、多くの悪霊を追い出し、その悪霊に取りつかれていた男は弟子となりました。まずは、マルコの福音書 5 章の前半、1-20 節の悪霊との対決の場面を見てみましょう。この出来事を見るにあたり知っておくべきことは、この悪霊払いが、2 週間前にヒコ牧師が説教した、イエスが水上の嵐を静めた出来事と関連しているということです。その出来事の直後に起こったと思われる今日の出来事で、**イエスは一人の男の人生の嵐を静め、キリストに従うすべての者が経験すべき、弟子のあるべき姿が示されています。**それはヨハネの福音書では 3 つ目の悪霊払いで、実にドラマティックなものでした。最も長く、詳細に説明されているうえ、追い出された悪霊の数の多さゆえに、とても強烈な出来事です。

1 節から、このもうすぐ弟子になる人がどのように解放されたのかを見てみましょう。「**こうして一行は、湖の向こう岸、ゲラサ人の地に着いた。**」この地はどの訳を読むかによって異なる 3 つの場所の可能性が指摘されています。最も可能性が高いのは、この地がゲラサよりも湖に近いことから、ゲラサではなく、ゲルゲサであると思われます。ギリシャ語ではこれらの名前はほとんど同じであるため、どの町を指しているのかは定かではありません。ガラセネスかゲルゲセネスか、はたまたガダレネスかはわかりませんが、イエスは船から降りて街のほうへ行かれました。海を治められる方は水を静めました。そこではイエスが霊的に静める必要がある嵐がまだ吹き荒れていました。2 節から続けます。「**2 イエスが舟から上がられるとすぐに、汚れた霊につかれた人が、墓場から出て来てイエスを迎えた。3 この人は墓場に住みついでいて、もはやだれも、鎖を使ってでも、彼を縛っておくことができなかった。4 彼はたびたび足かせと鎖でつながれたが、鎖を引きちぎり、足かせも砕いてしまい、だれにも彼を押さえることはできなかった。5 それで、夜も昼も墓場や山で叫び続け、石で自分のからだを傷つけていたのである。**」既にご指摘したように、船での出来事と、今回の悪霊に取りつかれた者との出来事とは、意図された明確な類似点があります。嵐の中で弟子たちが波に苦しめられていたように、この男も悪霊に苦しめられていました。超人的な力を持ってみたいと思われる方もおられるかもしれませんが、この男が持っていた強さは悪霊によるもので、彼自身にも周りの人にも害を与えるものでした。

彼は悪霊に苦しめられていましたが、後に分かるように実際には多くの悪霊に苦しめられていました。悪霊たちがこの男を酷く苦しめていたものの、6 節以降、これらの悪霊たちがイエスに対してどのような反応をしたのかを見てください。「**6 彼は遠くからイエスを見つけ、走って来て拝した。7 そして大声で叫んで言った。「いと高き神の子イエスよ、私とあなたに何の関係があるのですか。神によってお願いします。私を苦しめないでください。」8 イエスが、「汚れた霊よ、この人から出て行け」と言われたからである。9 イエスが「おまえの名は何か」とお尋ねになると、彼は「私の名はレギオンです。私たちは大勢ですから」と言った。10 そして、自分たちをこの地方から追い出さないでください、と懇願した。11 とところで、その山腹では、おびただしい豚の群れが飼われていた。12 彼らはイエスに懇願して言った。「私たちが豚に入れるように、豚の中に送ってください。」13 イエスはそれを許された。そこで、汚れた霊どもは出て行って豚に入った。すると、二千匹ほどの豚の群れが崖を下って湖へなだれ込み、その湖でおぼれて死んだ。」この出来事で見逃してはならない重要な点は、この出来事はユダヤ人にとって汚れに満ちたものであったということです。自分たちは信仰深いと思っていた者たちに対して、イエスは儀式的な清さよりも、これからこの悪霊に満ちた男に起こったように、人々の心の中に起こることを気にかけておられるのだということ、あらゆる点で示しています。イエスが出会った男は悪霊に満たされていました。そのこと自体が、この男が霊的に汚れていることの証でした。彼が住んでいた場所から異邦人であり、ユダヤ人にとって汚れた存在でもありました。また、汚れているとされ、家族にとって特定の場以外は避けられる場所である墓に住んでいました。そして豚、しかもその大きな群れを見ます。モーゼの律法においてイスラエル人は豚を食べることを厳しく禁じられていました。加えて、豚肉を大量に食べるローマ軍のためにこ**

これらの豚が飼育されていたのだとすれば、支配者であるローマのためにこれらの汚れた動物が飼育されているのだということ、彼らの心の中ではさらに悪いことととらえられました。

これはイエスと悪霊たちとの戦いというほどのものではありませんでしたが、彼らの会話は私たちが普段見ることのできないものでした。悪霊たちの反応は、自分たちがイエスに従うべき存在であることを知っており、イエスが来られるや否や敗北していることを知っていたことを示しています。すべての悪霊と同じく、彼らはイエスを単なる人としてではなく神として認識していました。彼らの応答は邪悪な舌からのものでしたが、イエスを他のすべての者と区別し、唯一の存在であることを示していました。彼らは7節で「いと高き神の子イエスよ」と呼びかけています。人々を神に導くとしていた宗教指導者たちは、このことを全く認識していませんでした。イエスに従っていた人々のほとんどがそれを認識していませんでしたが、悪霊たちはイエスを知っていて、その権威に服従しました。そして、聖書に出てくる悪魔祓いには手の込んだ儀式はないことに注目してください。何らかの言葉を繰り返したり、呪文を唱えたりということはありません。イエスは単に悪霊に語りかけられ、悪霊は立ち去らざるを得ませんでした。至る所に悪霊を認め、悪霊払いをする現代的なものとは全く異なります。他にもイエスが悪霊と対面したことは分かっていますが、そのミニストリーにおいて明らかにそのような場面がこれまで3回ありました。ですが、霊的な清めを行うという牧師たちに言わせると、クリスチャンはガソリンレベルをチェックし忘れたらガス欠間近になってしまったような状態で悪魔と戦って教会に来ると言います。そのため、悪魔を追い払うために唱えるべき言葉やフレーズや聖句や呪文というのを並べます。それらは悪霊を追い出すことと何の関係もありませんし、イエスが単に命じて悪霊を追い出したのと同じように彼らが悪霊を追い出すこともありません。実際、私たちは悪霊と対決したり、悪霊を探し出したりするには決して命じられてはいません。イエスに従う時、悪霊に立ち向かわざることが確かにあっても、呪文や人間的な努力に頼るわけではなく、悪霊との霊的な戦いも含めて、私たちの生活におけるすべてに十分である祈りと神のみ言葉に私たちは頼るのです。正直なところ、カリスマ運動や使徒運動といった中に蔓延している解放のミニストリーには近づかないように忠告したく思います。なぜなら、悪霊を打ち負かしたのはキリストなのですから、万が一悪霊と戦う必要があったとしても、キリストから離れては皆さんには勝ち目がないからです。ここにある悪霊は、霊的戦いに軽率に近づくことがなぜそれほどまでに危険なのかを教えてください。9節でイエスが「おまえの名は何か」と問われると、彼（悪霊は）「私の名はレギオンです。私たちは大勢ですから」と言いました。ギリシャ語の「レギオン」という語は軍事用語で、ローマ軍最大の部隊で、約5,600人の兵士を指します。現在であれば、この男は、以前「多重人格障害」とも呼ばれていた「解離性同一性障害」と診断されたかもしれません。ですが実際は、この人は人格が分裂しているのではなく、ローマ軍に匹敵する数と力に支配され、完全に打ち砕かれていました。このことだけをとっても、悪魔的な力と関わろうとしたり、神の御業を阻止しようとする悪霊の数、力、意図を思う時、人の言葉がそのような悪霊との戦いに仕えると考えるようなミニストリーを、私たちは拒むべきです。

神ご自身と認識していたイエスの前に、悪霊たちはただイエスをいと高き神の子と呼び、憐みを懇願することしかできませんでした。イエスの憐みは、彼らを豚の群れの中に送ることでした。なぜイエスは、この豚の群れが滅びることを許されたのでしょうか。驚くべきことに、人々は現代の動物愛護活動や豚の価値といったものに照らし、何ページにもわたってそのことを論じてきました。あれこれ思索するよりも、私個人は新約聖書学者のジェームズ・エドワーズ氏に同意します。彼は「イエスの目には、一人の人の救いと回復は莫大な資本資産よりも重要でした。人を贖うことに比べれば、豚の損失はそれがどれほど大きかったとしても特筆するに値しません。」と言っています。イエスは後に解放され弟子となった、この悪霊に取りつかれた男を気にかけてくれました。ですから私は最初にここで見ることができるのは解放された弟子であると言ったのです。エペソ人への手紙 1:4 によれば、イエスは、この悪霊に取りつかれた人は「世界の基が据えられる前から…御前に聖なる、傷のない者にしようと」選ばれていたことを知っておられたのです。つまり、他の人々が悪霊に取りつかれた人を見ていた時、イエスは弟子を見ておられまし

た。そして、彼を罪とサタンから解放し、神が定め選ばれたとおり、彼を弟子とされたのです。イエスはあなたにも同じことをすることがおできになります。私たちは皆、この悪霊に取りつかれた男と同じように、生まれながらにして罪に、それゆえサタンに支配されています。そして、私たち皆が、罪の支配から解放され、キリストの弟子へと変えられる必要があります。コリント人への手紙第二では、その変化を「新しく造られた者」と表現しています。また聖書には「新生」あるいは「再生」といった言葉も使われています。第二コリント 5:17 には「**ですから、だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。**」とあります。その再生は、この男を捉えていた悪霊のように、自分の罪が逃れることのできないものだと考え、罪を悔い改め、その罪の呪いと力から解放してくださる唯一の方としてイエスに立ち返るすべての人に与えられます。

そうすれば、この男がそうであったように、私たちがイエスを救い主であり主であると本当に信じるなら、そこに変化が起こります。それがここで私たちが目にしていることです。**弟子は変えられました。14-17 節を読みます。「14 豚を飼っていた人たちは逃げ出して、町や里でこのことを伝えた。人々は、何が起こったのかを見ようとやって来た。15 そしてイエスのところに来ると、悪霊につかれていた人、すなわち、レギオンを宿していた人が服を着て、正気に返って座っているのを見て、恐ろしくなった。16 見ていた人たちは、悪霊につかれていた人に起こったことや豚のことを、人々に詳しく話して聞かせた。17 すると人々はイエスに、この地方から出て行ってほしいと懇願した。」**悪霊に満たされたこの男を誰もが知っていました。この男が自分自身や他人を傷つけるのをやめさせようと、彼を縛ったり抵抗したりしましたが、最終的にはただ彼を避けていました。そして、豚飼いたちの言葉を聞いて、自分たちが知っていた男とは全く違うこの男を見にやってきました。裸だった男が服を着て、自分をコントロールできなかった男が自分を完全にコントロールできるようになって静かに座っているのを見ました。それが彼らを恐れさせました。彼らは、それがイエスという男が起こしたことであることを知っていました。ですが、男のために喜ぶどころか、イエスが去ることを望みました。その力は彼らにとって大きすぎるものだったのです。誰かの人生を変えることなど望んでいませんでした。このユダヤ人が彼ら異邦人の町を訪れることは構わないけれど、これほどの力が巻き起こすいかなるトラブルも望んではいなかったのです。ですから、完全で人生を変える癒しを与えることができる方を、受け入れるのではなく遠ざけたのです。

今日でも多くの人がそうしています。救われて、キリストに在って成長し、キリストに似た者とされていくとき、人々がその変化を見て、キリストを知りたいと思うようになると私たちは思いたいのです。しかし、必ずしもそうではありません。皆さんが本当にキリストに従い、キリストによって変えられていくと、自分が行く場所が変わってくるかもしれません。使う言葉が変わるかもしれません。仕事のやり方が変わるかもしれません。聖霊に満たされることで酔っぱらうことを拒むようになり、お祝いの仕方が変わるかもしれません。先祖の霊を拝むことができなくなり、親族の思い出に思いを馳せる方法に影響を与えるかもしれません。そのようなすべての状況において、その変化を拒絶し、イエスに引き寄せられるのではなく、むしろ逆らう人も出てくるでしょう。クリスチャンの配偶者が教会を優先しないでほしいと願う夫や妻、クリスチャンの従業員がもう少し不誠実であることを望む上司、クリスチャンの親がイエスについて黙っていてほしいと願う子どもたちがいるのを知っています。それでも私たちは、イエス・キリストを知った以上、イエスへの献身において妥協することはできません。救いにおいて支配されるということは、救いに伴う変化を意味します。そしてそれは、私たちを知る人たちにとって顕著なものです。私たちの周りにいる人たちは、私たちの内にキリストを見ておられるのでしょうか。そうでなければなりません。

また、本当の変化や真に弟子であるかどうかの真の試しは、単に生活を改めることではありません。少なくとも表面的な生活において変化をもたらすような自己啓発プログラムやメンタルヘルス・プログラムもあります。この男の人生に見られる弟子としての最後の側面は、弟子は福音を

携えて出ていくということです。18-20節を見てください。「18 イエスが舟に乗ろうとされると、悪霊につかれていた人がお供させてほしいとイエスに願った。19 しかし、イエスはお許しにならず、彼にこう言われた。「あなたの家、あなたの家族のところに帰りなさい。そして、主があなたに、どんなに大きなことをしてくださったか、どんなにあわれんでくださったかを知らせなさい。」20 それで彼は立ち去り、イエスが自分にどれほど大きなことをしてくださったかを、デカポリス地方で言い広め始めた。人々はみな驚いた。」変化と弟子であることが本当に問うものはなんでしょう。それは、私たちがこの変化について、その変化をもたらしてくださったイエス・キリストについて他の人たちに語ることです。この男はイエスとの出会いによって人生を変えられましたが、他の人々に対してとは違い、彼の異邦人の隣人たちに、主が、神が彼のためにどれほどのことをしてくださったのかを伝えるようにとに言われました。この男が語ることには意味がありました。イエスが、行って、主が、言い換えれば神がなされたことを人々に告知させなさいと言われたことに注目してください。ですが、この男はイエスが自分にしてくださったことを、自分が住んでいた10の異邦人の都市からなるデカポリス地方に宣べ伝え始めました。男はイエスがなぜそのようなことができたのかを理解していました。イエスが主であり、受肉された神だったのです。

この話は、弟子であることを私たちが理解するうえでとても重要です。私たちの多くにとって、キリストが自分のためにしてくださったことを誰かと分かち合うことで、自分がキリストの弟子であることを最後に示したのはいづんと前のことです。それはなぜでしょう。それは、私たちが救うために、神がイエス・キリストを通してどれほどのことをしてくださったかを忘れてしまうからです。この悪魔に取りつかれていた弟子は、イエスがしてくださったこと、そして自分にもたらされた変化を喜んで広めました。それは、悪霊から解放されるという大きな賜物が自分に与えられたことを認めていたからです。海の嵐を静めたイエスが、自分の人生における嵐をも静めてくださったその力を直接体験したのです。罪にとらわれていましたが、イエスが彼を自由にしてくださいました。そう思うと、皆さんは今でも興奮を覚えるでしょうか。会う人すべてに福音を叫びたくなるでしょうか。神があなたの代わりに十字架で死ぬためにご自分の子を遣わされたことによって、地獄で永遠を過ごす運命にある罪の淵からあなたを救ってくださったというメッセージをでしょうか。もし私たちが、キリストが私たちが救うために何をしてくださったか、また父なる神にとって私たちの罪がどれほど大きく嘆かわしいものであるかを認め、思い出すことができるなら、自分が知っているすべての人たちに、私たちの神がどれほど偉大なお方で、彼らがどれほど救い主イエスを必要としているのかを大胆に伝えることでしょう。キリストの弟子として、キリストに従う者として、私たちはイエスがしてくださったことを伝えられずにいたことを悔い改め、福音を大胆に伝えることに努めなくてはなりません。祈りましょう。

Mark 5:1-20 A picture of discipleship

Today, we are looking at the most detailed account in the Bible of a dramatic exorcism. Jesus casts out not one, but many demons and a demon possessed man becomes a disciple. We will be looking at the first half of Mark 5, verses 1-20 where we see this confrontation with the demonic. What we need to know going into this event is that this exorcism is connected to the event before this that Pastor Hiro preached on two weeks ago, where Jesus calmed the storm on the water. In this next event today that seems to occur right after that, ***Jesus calms the storm in a man's life and gives us a picture of discipleship that should characterize the experience of every follower of Christ.*** This is the third exorcism in the book of John, and it is really the most dramatic. It is the longest explanation with the most details given to us, and really it is the most powerful because of sheer number of demons as we will see.

Let's begin at verse 1 and see how **this soon-to-be disciple is freed.** **5 They came to the other side of the sea, to the country of the Gerasenes.** This town has been identified as three different possible locations depending on which translation you read. The most likely possibility is that the town here is Gergesa rather than Gerasa since it was much closer to the lake than Gerasa. The names are nearly interchangeable in Greek so it is difficult to tell which town is intended. Either way, Garasenes or Gergesenes or even the third town Gadarenes, Jesus gets out of the boat and goes toward the town, and that's when we find out that while the water may have been stilled by the Master of the Sea, there was still a storm raging that Jesus needed to quiet spiritually. Verse 2 continues... **2 And when Jesus^[b] had stepped out of the boat, immediately there met him out of the tombs a man with an unclean spirit. 3 He lived among the tombs. And no one could bind him anymore, not even with a chain,⁴ for he had often been bound with shackles and chains, but he wrenched the chains apart, and he broke the shackles in pieces. No one had the strength to subdue him.⁵ Night and day among the tombs and on the mountains he was always crying out and cutting himself with stones.** As I already pointed out, there are clear intended parallels between the last event in the boat and this event with the demoniac. This man was tormented by his demons like the disciples had been tormented by the waves in the storm. You may think you want superhuman strength, but this strength that was empowered by demons was damaging to himself and others. He was tormented by this demon, as we will see actually many demons.

But as bad as these demons treated this man, look at their reaction to Jesus starting in verse 6. **6 And when he saw Jesus from afar, he ran and fell down before him. 7 And crying out with a loud voice, he said, "What have you to do with me, Jesus, Son of the Most High God? I adjure you by God, do not torment me." 8 For he was saying to him, "Come out of the man, you unclean spirit!" And Jesus asked him, "What is your name?" He replied, "My name is Legion, for we are many." 10 And he begged him earnestly not to send them out of the country. 11 Now a great herd of pigs was feeding there on the hillside, 12 and they begged him, saying, "Send us to the pigs; let us enter them." 13 So he gave them permission. And the unclean spirits came out and entered the pigs; and the herd, numbering about two thousand, rushed down the steep bank into the sea and drowned in the sea.** One key thing we should not miss about this event is that it is filled with uncleanness to the Jews. In every way, it conveys to those who think themselves to be religious that Jesus cares less about their ritual purity and more about what happens in their hearts like like we will see happen to this man filled with demons. The man Jesus meets is filled with evil spirits – demons. This is in itself proof that this man is spiritually unclean. He is a gentile based on where he lives, also making him unclean to a Jew. And he lives in tombs, which were considered unclean and would be avoided except specific

family occasions. Now we see pigs, a huge herd of them. Eating pork was strictly forbidden to Israel in the Mosaic law. And if the pigs were being raised as food for the Roman army which tended to survive on large amounts of pork, then this is even worse in their minds, because the raising of unclean animals was for the purpose of feeding an occupying army of Rome.

Now, this wasn't much of a fight between Jesus and these demons, but it is a conversation between them that we don't normally see. Their response demonstrated that they knew they were subservient to Jesus and were defeated as soon as he arrived. As all demons did, they recognized Jesus, and not just as a man, but as God. Their response, while given from an evil tongue shows the uniqueness of Jesus that sets him apart from all others. They call him in verse 7, **Jesus, Son of the Most High God**. The religious leaders who claimed to point people to God never recognized this. Most of the crowds who followed Jesus failed to recognize this, but the demons knew and submitted to his authority. And notice that as with all the exorcisms that take place in Scripture is that there is no elaborate ceremony. There are no repetitious words or incantations. He simply speaks to the demons, and they are forced to leave. This confrontation is very different than the modern deliverance movement where they see demons around every corner. Jesus has only clearly confronted demons three times in his ministry now, although we know there were others. But to some deliverance pastors, Christians will come to church fighting a demon of low gas in their car if they forgot to check their gas gauge. They will lay out specific words, phrases, verses, incantations that you should say in order to rid yourselves of those demons. That has nothing to do with casting out demons and it is never done in the way that we see Jesus cast out demons with a simple command. In fact, we are never told to confront demons or seek them out. While clearly we may confront them while we are serving Jesus, we don't turn to incantations and human effort, we turn to prayer and the Word of God which is sufficient to all things in our lives, including spiritual warfare against demons. I would honestly caution any Christian to stay away from the Deliverance ministries that are so prevalent in the charismatic and apostolic movements. Not the least of reasons is that at some level if you do engage demons, you are not in a fair fight, apart from Christ, because it was Christ who defeated these demons. But this particular demon shows us why approaching spiritual warfare in a cavalier way is so dangerous. In verse 9, Jesus says, **"What is your name?" He [the demon] replied, "My name is Legion, for we are many."** The Greek term "Legion" is a military term which designated the largest troop-unit in the Roman army, some 5,600 soldiers. Today, this man may have been diagnosed with "dissociative identity disorder" what used to be called "multiple personality disorder." But the truth was that this man was not a split personality, but one that was shattered completely with the number and force of a Roman legion occupying him. This idea alone should cause us to reject any ministry that would play with the demonic or think there are human words that can be used to fight demons in light of their sheer number, power and evil intention to stop the work of God.

But in the presence of Jesus, Deity himself as they recognized, by calling him the Son of the Most High God they could only plead for his mercy. His mercy was sending them into the herd of pigs. Why did Jesus allow the destruction of this herd of pigs. Incredibly, people have spent many pages of ink discussing that in light of modern day animal rights activism and the worth of the pigs. Rather than speculate, I would simply agree with **New Testament scholar James Edwards who says, "In the eyes of Jesus, the rescue and restoration of one person is more important than vast capital assets. Compared to the redemption of a human being, the loss of the swineherds, considerable though it is, does not rate mentioning."** Jesus cared about this demon possessed man, who he freed to

become a disciple. That's why I started by saying that what we see here is a disciple freed. Jesus knew that according to [Ephesians 1:4](#), this man, this demoniac was chosen ... [in him \[Jesus Christ\] before the foundation of the world, that \[he\] should be holy and blameless before him](#). In other words, when others saw a demoniac, Jesus saw a disciple. And he freed him from sin and Satan to be the disciple that God predestined and chose him to be. And Jesus can do the same for you. All of us like the demoniac are born in the grip and control of sin and therefore Satan. And we all need to be freed from the control of sin and transformed into a disciple of Christ. 2Corinthians describes that transformation as becoming a new creation, and the Bible also uses the term New Birth or Regeneration. [2Corinthians 5:17](#) says, [Therefore, if anyone is in Christ, he is a new creation. The old has passed away; behold, the new has come](#). That is available to all who see their sin as impossible to escape as the demons that possessed this man, and repent and turn to Jesus as the only one who can free us from the curse and power of that sin.

When we do that, if we really believe in Jesus as our Savior and Lord as we will see that this man did, then there will be change. That is what we see here. **The disciple is changed.** Read verses 14-17. [14 The herdsmen fled and told it in the city and in the country. And people came to see what it was that had happened. And they came to Jesus and saw the demon-possessed^{\[c\]} man, the one who had had the legion, sitting there, clothed and in his right mind, and they were afraid. And those who had seen it described to them what had happened to the demon-possessed man and to the pigs.¹⁷ And they began to beg Jesus^{\[d\]} to depart from their region.](#) Everyone knew this man who had been filled by demons. They had tried to stop him from hurting himself and others by tying him and fighting him, and finally simply avoiding him. Now on the message of these keepers of the pigs, they came out to see this man who was very different than the man they knew. They saw a naked man wearing clothes... a man not in control of his own actions sitting calmly fully in control of himself. And it scared them! They knew that it had happened because of this man Jesus. But rather than being happy for this man, they wanted Jesus to leave. This power was too much for them. They did not want someone to change anyone's life. It was fine if this Jewish man wanted to visit their Gentile towns, but they were not looking for any trouble that this kind of power would stir up. So they pushed him away rather than embracing the one who could offer complete and lifechanging healing.

So many people will do that today. I know that we like to say that when you get saved and begin to grow in Christ and change to be more like Christ, people will see the changes, and want to know Christ. That will not always be the case. If you really follow Christ and begin to change in ways he convicts you about, it may change the places you will let yourself go. It may change the language you are willing to use. It may change the business practices you are willing to perform. It may change the way you celebrate, as being filled with the Spirit now leads you to reject drunkenness. It may affect the way you honor memories of your relatives where you can no longer worship your ancestors spirits. In everyone of those circumstances, some people are going to reject the change, and push against Jesus rather than be drawn towards him. I know spouses who wish their Christian spouse would not prioritize church, bosses who would prefer a Christian employee to be a little more dishonest, children who want their Christian parents to just shut up about Jesus. And yet we can't compromise in our commitment to Jesus Christ when we know him. Lordship in salvation means that there will be change that comes along with salvation. And it will be noticeable to people who know us. Do people around us see Christ in us? They should.

And the true test of real change or authentic discipleship isn't just a cleaned up life. There are self-help programs and mental health programs that can bring about at least external change to our lives. The final aspect of being a disciple that we see in this man's life is that **a disciple goes out with the gospel**. Look at verses 18-20. ¹⁸ **As he was getting into the boat, the man who had been possessed with demons begged him that he might be with him.** ¹⁹ **And he did not permit him but said to him, "Go home to your friends and tell them how much the Lord has done for you, and how he has had mercy on you."** ²⁰ **And he went away and began to proclaim in the Decapolis how much Jesus had done for him, and everyone marveled.** What is the real test of change and discipleship? It is that we are telling others about this change, and about Jesus Christ who brought the change. This man had this meeting with Jesus that changed his life, and unlike some others, Jesus told him to tell his gentile neighbors how much the Lord, God, had done for him. That is significant to what this man was saying. Notice that Jesus said, go tell people what the Lord, in other words, what God has done. But this man began to proclaim to his area of the Decapolis, a group of 10 Gentile cities in this area what Jesus had done for him. He understood why Jesus could do what he did. He was the Lord, God in the flesh.

This story is so important to our understanding of what it means to be a disciple. For too many of us, it has been a long time since we have shown that we are followers of Christ by sharing what Christ has done for us with anyone. And why is that? Because we lose sight of just how much God has done through Jesus Christ to save us. This formerly demon possessed disciple gladly spread the news of what Jesus had done and the change brought to his life, because he recognized just what a great gift of his freedom from demons he had been given. He experienced first hand the power of Jesus, the one who calmed the storms on the sea to calm the storms in his life. He was trapped in his sin, but Jesus made him free. Does that thought still excite you? Does it cause you to want to shout the gospel to everyone you meet? This message that God saved you from the pit of sin that had you destined to an eternity in hell, by sending his own son to die in your place on the cross? If we could really put ourselves in the place of recognizing and remembering what Christ has done to save us, and how terrible and grievous our sins are to God our Father, then we would be boldly telling everyone we know how great our God is and how much they need our Savior, Jesus. As disciples and followers of Christ, we need to repent of our failure to declare what Jesus has done, and commit ourselves to boldly proclaiming the gospel. Let's pray.